

第 23 回全国青年対策交流集会に参加して

関西地方本部 築港支部 湧川 滉希

新型コロナウイルスの世界的流行もあり、青年部の活動も厳しく制限されていた昨年までの情勢も踏まえ、この度は3年ぶりの開催となった青年対策交流集会に参加させていただき、ありがとうございました。全港湾という組織に所属しながら別の地方本部・支部の青年部の方々と関わる機会があまりなかったため、今回の交流集会は大変有意義な経験ができました。

1日目の初めに、各地本の青年部活動報告が行われました。それぞれの地本青年部がこの1年どのような活動・取り組みをしてきたのかを知ることができ、今後私たちが活動していく上で「この活動は取り入れていきたい」、「この部分は参考にすべきだな」と強く感じました。

また、同じ日に全港湾中央執行委員長である鈴木誠一氏のオルグを受け、全港湾の歴史について勉強しました。現在では、私たちが働くうえで人間として当たり前の生活ができるような労働環境や福利厚生が整備されているが、それ以前にはその当たり前が担保されていなかったという話を聞き、今の生活は当たり前ではなく、先輩の方々が国や会社と戦い、勝ち取ったものであるということを改めて意識させられました。これからは私たちの世代がその意思を継いで組合員ひいてはその家族の生活を守っていかねばいけないのだと痛感しました。

2日目は、全国港湾中央執行委員長である真島勝重氏による反原発運動の歴史とそこから何を学ぶかの講演を受けました。題材としては反原発運動であったが、我々の普段の組合活動と通ずる部分があると感じました。それが「団結」の重要性というものであり、多くの人が団結することでいかに大きな力になるのかをより一層理解できたと思いました。

そして、1日目・2日目のオルグ・講演を受け、グループに分かれての分散会を行いました。その話し合いの中で、各地本・各支部がどのような問題を抱えていて、解決に向けてどのようなことに取り組んでいるのか、それについて他の参加者たちと活発な意見交換ができ、非常に意義の有る時間だったと思います。

この3日間の交流集会を終え、沖縄平和行進や福島キャラバンといった活動にも積極的に参加し、より多くの人々を巻き込んだ運動にできたらと思いました。全港湾の青年部に所属する仲間とともに団結し、これからの組合活動に活かしていきたいです。